

フェノバルビタール		611000			
		担当部署			
フェノバル		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		添付文書において、採血管の分離剤の影響を受けるとの記載があるが、当院採用の採血管においては影響は認められなかった。 血中薬物に対する分離剤の影響検討試験結果			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		トラフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		10～40 $\mu\text{g}/\text{mL}$ (有効治療濃度) ナピア TDM フェノバルビタール 添付文書				
基準値					単位	$\mu\text{g}/\text{mL}$
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
15	40	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>フェノバルビタールはバルビツール酸誘導体の長時間型催眠剤である。中枢神経系に全般的な抑制作用をもつが、主に上行性脳幹毛様体および視床に抑制作用を持ち、大脳皮質へのインパルスの伝導阻害により鎮静催眠作用を発揮する。バルビツール作用の発現は遅く持続性であり、また排泄は特に遅く完全に体内から消失するのに約 1 週間を要する。肝機能低下者や老人で半減期が大幅に延長する為、血中濃度測定が有用である。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 160,2008</p>				